

県産月桃などの茎部素材を加工する際の生産性、品質の向上



実施事業の概要と成果

月桃の総合利用を目的に、これまで活用が困難で廃棄されていた月桃の茎部分(重量の約80%)の加工処理(現在は手作業と一部外注)体制を確立することを目的に機械設備を導入。本事業の検証の結果、手作業に比べて労力・作業時間の短縮・製品の品質向上において現状対比で大きな成果を得られた。

導入前の課題

当社は月桃総合有効利用の観点から、葉だけでなく、茎の活用に着目し、試作開発を行い、新商品として販売も行っていた。しかし作業工程のほとんどが手作業のため、事業を強化し展開していくには、生産効率が非常に低い。月桃の粉末・パウダーは原料として提供しているため、現在の手作業を機械化し、月桃全体の 80%を占める茎部まで粉碎・加工を可能にすることで既存事業の強化と新たな取り組み展開も可能となるため、作業工程の機械化は必須となっていた。

取り組みと成果

補助事業では、①カット、②乾燥、③ローラープレス、④粉碎の工程で機械を導入。通常、固くて粉碎が困難な作業も機械導入により内製化が可能となった。ほぼすべての部分で機械化できたことで、作業時間は約 2 週間の大幅な短縮。品質のムラの削減、天候に左右されない生産の安定性などの効果もあった。また、主な目的であった月桃茎の有効活用において、月桃全体の 80%を占める茎部分まで有効活用できる状況となった。



高速裁断機によるカットの様子



乾燥した月桃の茎商品、講習会で作成したしめ縄



乾燥機と乾燥させた月桃



店舗外観

補助事業後の展開

本事業の取り組みで、生産効率を高めることができたため、月桃の機能性を活用した製品を開発し、市場へ安定した製品を供給する予定である。茎部の粉末素材、月桃茎繊維の素材などを活用した製品の開発に力を入れ、マーケティング調査やお客様のニーズに対応した商品開発などを行い、県産月桃の総合利用と地域資源の有効活用に努めていきたい。

With コロナ、After コロナにおける取組

コロナ禍の影響で、観葉植物などのレンタル先である法人客は減少したが、「おうち時間」の需要増から個人顧客が増加傾向にある。新たに始めた LINE ポイントや SNS、定期的なガーデニング講習会などでファンづくりを行い、顧客増加に繋げていきたい。



代表取締役 喜納まゆみ

会社概要

事業者名: 株式会社リッチグリーン

代表者: 代表取締役 喜納 まゆみ

住所: 沖縄県那覇市首里末吉町 3-65 217 号室

資本金: 1,000 万円

従業員数: 5 人

電話番号: 098-886-2781

FAX 番号: 098-882-8551

設立年月日: 平成 2 年 5 月 24 日

業 種: 総合工事業

U R L: <http://www.rich-green.co.jp/>

